

# 鐘の音

kane-no-ne

パートナーシップさいたま  
(さいたま市男女共同参画推進センター)

広報誌

vol.22

2010.11 発行



▲講師の多田 千尋さんが手にしている木のおもちゃを吹くと、  
「ポッポー」…まるで汽車がやってきたみたい！

(幼児をもつ母親のための講座 9/3開催「世代をこえた東京おもちゃ美術館の“遊び術”」より)

## 特集 生き活きと輝くためのヒントを見つけませんか？

12月以降の講座予定	2
● 事業検討会議を開催しています	2
● イベントレポート「男女共同参画週間記念事業」「トレンド社会学」	3
● 第10回「女・男フェスタさいたま」においでください	3
● 「女性カレッジ2010」レポート	4
● ただいま活動中 「一木会」	4
● 女性の悩み相談 相談室から	5
● コ・ラ・ム 数字	5
● Book Navi 図書のご案内	5
● 施設・相談のご案内／ほっとたいむ	6

# 生き活きと輝くための ヒントを見つけませんか？

12月以降の講座予定



全講座 託児あり  
(ただし男性カレッジの12/18・1/15を除く)

12月～  
開催

詳細は市報12月号及び  
ホームページでお知らせ  
します

## 経済的に困難な状況にある女性を 応援するエクセル講座

女性の再チャレンジ支援として、就職や就労後の実務に役立つ初心者向けのOAスキル習得講座

- 日時** 12/10・12/17 (各金曜日)  
10時～17時 (1時間休憩)
- 会場** 生涯学習総合センター OA研修室  
(シーノ大宮センタープラザ8階)
- 講師** パソコンインストラクター
- 費用** テキスト代1,680円実費負担
- 申込** 12月3日(金)9時からパートナーシップさいたまへ

## 男性カレッジ

### ～パパクッキングは、家族の輪！～

男女で偏りがちな家事分担をバランスよくするために、男性も厨房に入ろう！料理や受講生同士の交流を楽しむ

- 日時** 12/18・1/15 14時～16時30分  
1/22・2/5 14時～16時(各土曜日)
- 会場** 大宮中部公民館 調理室 ほか
- 講師** 毛塚 智之さん (パレスホテル大宮洋食レストラン統括料理長) ほか
- 費用** 調理実習材料費1,900円実費負担
- 申込** 12月3日(金)12時からパートナーシップさいたまへ

## 男の人生塾

### ～これまでの介護、これからの介護～

介護を担う人の3割を男性が占める時代からだに優しい古武術介護等を学びながら、介護の現場で男女共同参画を考える

- 日時** 2/3・2/10・2/17・2/24・3/3  
(毎週木曜日)  
10時～12時 (2/17のみ13時まで)
- 会場** プラザイースト3階  
セミナールームほか
- 講師** 安藤 幸雄さん (認知症の人と家族の会)  
岡田 慎一郎さん (介護福祉士・理学療法士)  
牧野 史子さん  
(NPO法人介護者サポートネットワークセンター・アラジン)  
湯澤 俊さん (湯澤医院 院長)
- 費用** 2/17のランチ代500円実費負担
- 申込** 1月5日(水)9時から女・男プラザへ

## 離婚の選択、その前に

安易な離婚をしないため、女性を対象に、離婚の選択をする前に家族問題や自立した生活について考え学ぶ

- 大宮コース**
  - 日時** 1/19・1/26 (各水曜日)  
10時～12時
  - 会場** パートナーシップさいたま 会議室3
- 岩槻コース**
  - 日時** 2/2・2/9 (各水曜日)  
13時～14時30分
  - 会場** ワッツ 会議室A、B、Cほか
- 講師** 岡野 あつこさん (夫婦問題カウンセラー)  
海老原 夕美さん (弁護士)
- 費用** 無料
- 申込** 1月5日(水)9時からパートナーシップさいたまへ

平成23年  
1月～開催

詳細は市報1月号及び  
ホームページでお知らせ  
します

## 事業検討会議を開催しています

パートナーシップさいたまでは、施設の運営や事業を充実させるため、利用者等10名の市民のみならずと検討や協議を行う「事業検討会議」を行っています。

今年度は第1回を7月30日に開催し、講座の修了生や「鐘の音」元編集員、外部アドバイザー等の構成員から多くのご意見をいただき、活発な議論が交わされました。

今年度の事業中間報告や来年度の講座・講演会の事業計画案の説明を行うと、構成員から、「パートナーシップさいたまの継続的なPRが必要なのももちろん、これからは学校や企業へ出向いての講座や、企業との連携がポイントになる」等のご意見をいただきました。

今後もパートナーシップさいたまでは、事業検討会議でのご意見を事業や運営の参考とさせていただきます。



# イベントレポート

## 男女共同参画週間記念事業 シネマ&トーク「闇の子供たち」

日時 6月27日(日) 13時～16時15分  
会場 彩の国さいたま芸術劇場 映像ホール  
シネマ 「闇の子供たち」(2008年日本映画)  
トーク 「アジアから人権を考える」  
講師 百瀬 圭吾さん  
(てのひら～人身売買に立ち向かう会代表理事)

男女共同参画について広く啓発し、人々の理解を深めるため、毎年6月23日～29日が「男女共同参画週間」となっています。それを記念し今年度は「シネマ&トーク」を開催しました。



児童虐待や人身取引(トラフィッキング)、アジアの女性や子どもたちを取り巻く問題等、人権尊重を男女共同参画の視点から学ぶため、タイでの人身売買を描いた映画「闇の子供たち」を鑑賞しました。

上映後、講師から「世界では年間270万人が人身売買され、うち子どもは120万人、6秒に1人が被害者となっている。国連の薬物犯罪事務所2009年報告によると、人身売買の利益は世界で2兆8900億円で、1位は性的搾取、2位は強制労働である。送り出す側、受け入れる側双方に問題があるが、何より私たちが知らないで、無関心でいることが被害を拡大している」と、関心を持つことの大切さが話されました。

## トレンド社会学 ワークライフシナジー 「仕事と生活」どちらも充実させる生き方

日時 10月4日(月) 10時～12時  
会場 浦和コミュニティセンター 多目的ホール  
講師 大沢 真知子さん(日本女子大学教授)

にこやかな笑顔で登壇された大沢さんは、ご自身の学生時代のこともお話くださいました。自分の力で自分らしく生きてみよう并希望を持ち、アメリカでも学んだ時は、逆境の中から人との違いを肯定し、頑張ったそうです。今自分が持っているものの価値に気付き、今やるべきことを選択できる力を持つこと、そして「足るを知る」こと(自分にとってこの程度で良いという意識)も重要、という内容に共感しながら聴くことができました。

充実した人生を送るために、①時代を読む力、②自分を見つめる目(欠点を長所に変える)、③自分を評価する物差しを多様化、④人との出会い、⑤「ここまでで十分」という自分なりの基準、⑥人の力を上手に借りること、⑦社会的な視点、が必要と教えていただきました。そして仕事で成果を出すために、健康を保ち、家庭生活や社会貢献も大事にすること、また、定年後・老後は自分を生かせる道を考え夢を持つことも、心に留めておきたいと思いました。

仕事への意欲が高まり、時間を無駄にせず、生産性も上がってより良く生きる分かち合いの社会を願いつつ、大きな拍手で終了しました。

(秋山 典子)



## ひとひと 第10回 「女・男フェスタさいたま」においでください



「女・男フェスタさいたま」とは、さいたま市男女共同参画推進団体連絡協議会とさいたま市が、男女共同参画社会の実現に向けて、市民参画による啓発を目的として実施するイベントです。このたび節目の10回目を迎えます。昨年度は2日間で1,050人のみなさまにご参加いただきました。

今年度も内容が決まりましたのでお知らせします。「女・男フェスタさいたま」は、参加するあなたが主役です。ぜひ足をお運びください。



▲第9回の加盟団体によるステージ発表

テーマ 「女と男 共に輝く 社会めざして」

日時 平成23年1月29日(土) 11時～16時  
1月30日(日) 10時～16時

会場 生涯学習総合センター  
(シーノ大宮センタープラザ) 9、10階

内容 さいたま市男女共同参画推進団体連絡協議会  
加盟団体による展示、ワークショップ、  
ステージ発表

講演会 1月29日(土) 13時30分～15時30分  
10階 多目的ホール

演題 「女と男 共に輝く 社会めざして」  
講師 矢澤 澄子さん(元東京女子大学教授)

上映会 1月30日(日) 13時30分～15時10分  
10階 多目的ホール

映画「ただいま それぞれの居場所」

# 女性のためのメディア・リテラシー

今年度の「女性カレッジ」は、6月から10月にかけて、好評のうちに全10回のカリキュラムを終えました。現在は修了生の有志「のど飴の会」が学習記録誌を作成中です。

\*「リテラシー」とは、読み書き能力、与えられた材料から必要な情報を引き出し活用する能力のこと

## カリキュラム

- ① 6/29 情報社会に溺れないための学び  
「女と男とメディアの力」
- ② 7/6 身近なメディアをLet's Check!  
「CMを違う角度から見れば…」  
講師：谷岡 理香さん（東海大学文学部広報メディア学科准教授）
- ③ 7/13 テレビアニメとメディア・リテラシー  
「ジェンダーの視点からヒーロー像を読み解く」
- ④ 7/20 テレビニュースとメディア・リテラシー  
「メディアが構成する『現実』を読み解く」  
講師：登丸 あすかさん（FCTメディア・リテラシー研究所理事）
- ⑤ 7/27 女性とメディア 目からウロコの受講者目線  
講師：パートナーシップさいたま事業コーディネーター
- ⑥ 9/7 北京会議+15年、雇均法+25年  
「メディアから見たジェンダーバランス」
- ⑦ 9/14 メディアのつくり手の立場から  
「女性情報誌と新聞、編集のツボは違うの？」  
講師：野村 浩子さん（日本経済新聞社編集委員）
- ⑧ 9/21 暮らしの中にあふれる情報  
「その気にさせる！？思い込みからの解放」
- ⑨ 9/28 人と人、そして情報がつながって  
「情報格差を超える ことば力と傾聴力」  
講師：結城 美恵子さん（(有)インフォメーションプランニング代表）
- ⑩ 10/5 学びをカタチに！コミュニケーションする力をつける  
講師：パートナーシップさいたま事業コーディネーター

## 編集員レポート 女性カレッジに参加した「鐘の音」編集員が講座を振り返りました。

夏休みを挟んで全10回、毎回多数の受講生のみなさんと活発に意見を交換できる、充実した講座でした。

1、2回では今まで“普通”と思っていたことも、視点を変えてみればそうではないということ、メディアに取り上げられるニュースは、誰かの価値観で選ばれて優先順位が付けられていることを知りました。かつて話題になったCMも見ましたが、自分は当時はなんの疑問も持たなかったの、気付くことの大切さを感じました。



▲第3回講義の様子

3、4回ではメディアの女性表現がいかにステレオタイプであるか、またそれを平等で公正にするためにどのような活動が行われているかを知りました。

6、7回では、新聞はマクロ、雑誌はミクロな視点で書かれていることや、雑誌はイメージを売る物であり、売れる企画が重要だが、作り手の伝えたい企画との折り合いも大変だと知りました。

8、9回では情報を「知る」「わかる」「伝える」のサイクルの中で、考えて自分のものにする重要性や、感性の鈍化で「つもり感覚」に陥り易くなっていることを知り、その後のグループワークでは、目からウロコの落ちる驚きがありました。

全体を振り返って、最も印象的だったのは、7回の終わりに野村さんがおっしゃった「今後みなさんがどんなアクションを起こすのか」の一言でした。この講座で得たものを活かせるかどうかは自分次第。できることからコツコツと、落ちたウロコがまた目に入らないように学び続けたいと思います。  
(石塚 寿美恵)

## ただいま活動中

### 「一木会」

ひとひと  
女・男プラザの講座から誕生した  
自主学習グループを紹介します

で遊びながら何かを学ぼうよ「程度の軽いものでした。会名の「一木会（いちもくかい）」も集まりの日がたまたま第一木曜日だったために命名しました。

原則月1回の活動を行っており、3月からはディスカッションを重ねる会の目的や会則をまとめました。(この間飲み会は3回実施)7月、9月はお茶の先生(裏千家)を招いて初級の実技を学びました。(写真は大宮氷川神社文化会館 茶室での講習風景)

11月には、そば打ちの先生を招いて実技講習を実施します。これからメンバーの経験や人脈を活かしながら肩肘を張らない楽しい活動を続けていきたいと考えています。

二木会代表  
村越 道雄



▲7月、9月には茶道を学びました

私達は本年1、2月に女・男プラザ(緑区プラザイースト)で行われた「男の人生塾」という陶芸とそば打ち体験講座に集まったメンバーが、2月末の講座終了を機会に親睦を目的に有志9名で集まったグループです。きっかけは「講座」で出会ったのも何かの縁、「集団

## 女性の悩み相談

### 相談室から

#### 対話の大切さ



何かに悩んだとき、あなたならどうしますか？

例えば、色々な思いが頭に渦巻いて困ったとき、「あんなことを言ってしまった、どうしよう」と思ったとき…。

あなたがその時どんな気持ち、状況で発した言葉なのかを振り返って、色々な思いと一緒に整理してみてください。

今は、本を読んだりテレビを見たりして様々な情報が得られる時代です。でもそれは一方通行で、その中で疑問に思うことがあっても質問することはできません。

対話をすることで、初めて心に響き、気づき、自己解決の糸口が見つかることでしょう。家族や親しい友人だからこそ、話せないこともあります。

パートナーシップさいたまの女性の悩み電話相談室は、あなたの気持ちに寄り添い、一緒に考えていくところです。あなたが悩み、困っていることや、気持ちを言葉に出してみてください。一人で悩まず一緒に考えましょう。

お名前はお聞きしません。  
お電話をお待ちしています。  
(婦人相談員 J)



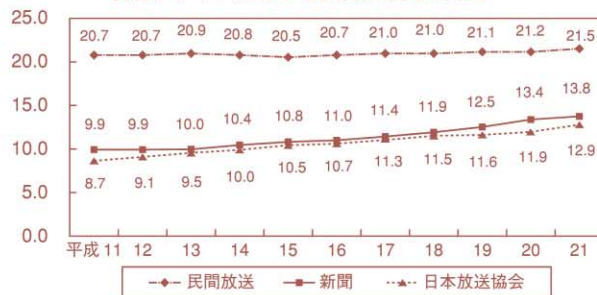
# 13.8%

この数字は、日本の新聞社における、平成21年の全従業員に占める女性の割合です。

新聞、テレビ、ラジオ等のメディア分野における女性の参画・意思決定は、各メディアが提供する情報の内容が偏ることを防止し、また、自主的に女性の人權に配慮した表現を行うようにする上で重要です。メディア・リテラシーをテーマとし、10月に全カリキュラムを終えた「さいたま市女性カレッジ2010」(P.4参照)では、新聞や放送などの、各メディア分野における女性の従業員や管理職の割合についても取り上げられました。

グラフを見ると、新聞、民間放送(テレビ・ラジオ)、日本放送協会(NHK)の女性従業員の割合が、徐々にではありますが増加していることがわかります。今後もこの傾向が続くことが期待されます。

各種メディアにおける女性従業員の割合



平成22年版「男女共同参画白書」より(内閣府)

## BookNavi

情報・資料コーナーで貸し出ししている図書のご案内です。

### 『家族関係を考える』

河合 隼雄：著 1980年〈講談社〉

親子、夫婦、父と息子、母と娘、父と娘、きょうだいなど、個性と個性がぶつかり合うところに、家族関係のおもしろさ、難しさもある、という新しい視点を学びました。著者が心理療法家として受けた相談事例を挙げながら、それぞれの関係の特徴を述べています。そして家族・職場・社会、それらの絆のどれかを弱めるのではなく、つながろうと努力していると、新しいエネルギーが生まれ、今までと異なる世界が開けるそうです。

関心のある項目から読み進めることもでき、様々な考え方を知ることにより、人間関係を円滑に築くヒントになりそうです。家族とのかかわりの中で、自分の存在を確かめ、個人と個人の対話も大切にする中で、絆はお互いの努力によってつくられていくもの、といいます。自分の生き方について誠実に考え、問題が生じた時、あれこれ担うことにより解決に至ることが多い、との内容に励まされました。(秋山 典子)

### 『ジェンダーの語られ方、

### メディアのつくり方』

諸橋 泰樹：著 2002年〈現代書館〉

私がジェンダーの問題に関心を持ち、男女の存在様式が文化的・歴史的に決して普遍的なものでないという認識を持ったのはつい最近のことでした。

本書は私のような初心者にも平易な文章で、日本のメディアのジェンダーフリー度の後進性を指摘し、ジェンダー先進国カナダの取組とシステムを検証しています。また、日本の多くの人達のジェンダー意識の低さから、この問題に対する政府の消極的姿勢と商業主義、大衆迎合主義に侵されているマスメディアの問題点を分かりやすく説明しています。

著者は、マスメディアが社会的文化的な女性像、男性像を提示することで、ジェンダーの固定化を許してしまっている状況を変革するために、ジェンダーフリーを目指す自治体広報の役割の重要性を訴えています。本書を通じ改めてジェンダーフリーへの取組の困難性を実感しました。(鈴木 猛)

施設のご案内

	<b>パートナーシップ さいたま</b>	<b>ひと ひと 女・男プラザ</b>
場所	大宮区桜木町 1-10-18 シーノ大宮 センタープラザ 3階	緑区中尾 1440-8 プラザイースト 3階 <small>※浦和駅東口よりバス、「緑区役所入口」下車 又は東浦和駅よりバス、「プラザイースト南」下車</small>
開館時間	平日 9:00~21:00 土・日・祝日 9:00~17:00	9:00~17:00
休館日	第4日曜日、年末年始	月曜日、年末年始
施設の利用	男女共同参画の推進を目的とする活動に、ご利用ください。 (パートナーシップさいたまの会議室・プレイルームと 女・男プラザの団体活動室は、利用登録が必要です。)	
情報・資料コーナー、交流コーナー	本や雑誌、行政資料、ビデオなどがあります。 閲覧、貸出しができます。ちょっとした話し合いに利用 できる交流コーナーもあります。	
お問い合わせ	<b>048-642-8107</b>	<b>048-875-9966</b>

相談のご案内

●女性の悩み電話相談

女性の生き方、夫婦、親子の問題、職場や近隣の人間関係などの相談に応じます。

パートナーシップさいたま	☎048-643-5813
月～金 / 10:00～20:00 土・日・祝 / 10:00～16:00	
女・男プラザ	☎048-875-9653
金 / 10:00～17:00	
浦和区役所 女性の相談室	☎048-829-6129
月・火・水・金 / 10:00～17:00	
中央区役所 女性の相談室	☎048-840-6132
月・水 / 10:00～17:00	
岩槻区役所 女性の相談室	☎048-790-0158
月・水 / 10:00～17:00	

●女性のための法律相談(予約制)

女性の弁護士が相談に応じます。

パートナーシップさいたま	☎048-642-8107
第2・第4水曜日 / 13:00～15:30	
女・男プラザ	☎048-875-9966
第1・第3火曜日 / 13:00～15:30	

●女性のための心の健康相談(予約制)

専門の女性の医師が相談に応じます。

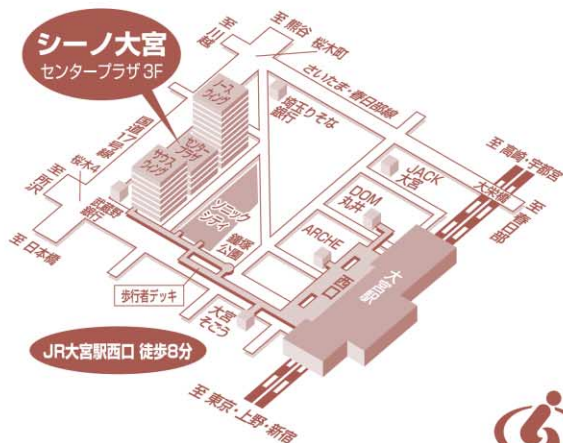
パートナーシップさいたま	☎048-642-8107
第4金曜日 / 13:30～16:30	

◆相談は無料です。◆秘密は厳守します。

私の日課  
仕事や育児に追われた頃、悠々自適を  
夢見たが現実はその成らなかつた。まず  
カレンダーに何も無い生活が不安になり  
趣味など予定に入れた。更に少しずつ体  
調が変化し医者通いが定例化、健康維持  
に軽い運動が必要と言われた。町内会で  
「歩こう会」が始まり参加し始めた。毎朝  
見沼用水西縁を歩く、単調だが同行者と  
話し季節の変化を追うのが楽しく習慣に  
なった。春は桜並木を心地よく歩き、や  
がて紫陽花、ムクゲから紅葉を楽しむ。  
水面にはカルガモが泳ぐ時もある。  
課題は冬、寒さが苦手な木々も殺風景。  
実は休みがちになる。体調管理が今の務  
めと思ひ今冬は歩き続けたい。

12 ③、33 ②、8 ① 景  
(下部 喜子)

ほっとたいむ  
長女が結婚し横浜  
に住んで四年。二歳  
八ヶ月になる双子を含め  
三人の子供達を連れて遊びに来てくれ楽  
しい時を過ごしている。  
娘の話では電車では大変だといっ  
確かに二人用のベビーカーと二人をおぶっ  
てエスカレーターでは動きが取れない。  
我が家の最寄り駅にはエレベーターは無  
く、また欧州のように乗客が手助けして  
ベビーカーを気軽に運んでくれる風習も  
ない。より優しい社会が整うことを願っ  
ている。  
さて、ここで鉄ちゃんからクイズ3問。  
①「浦和」のつく駅はいくつ?  
②さいたま市内の鉄道の駅はいくつ?  
③市内の駅で車椅子やベビーカーでホー  
ムまでいける駅はいくつ?  
(答はほっとたいむの最後に掲載)  
(五十嵐 茂樹)



広報誌「鐘の音」のご感想、ご意見をお寄せください。  
郵便、FAX、E-mailでパートナーシップさいたままで  
お願いします。

《誌名「鐘の音」》  
大宮の古い地名「鐘塚」に建てられた「パートナーシップさいたま」から、男女共同参画推進の鐘の音を響かせたい、その願いを込めて名づけました。

パートナーシップさいたま広報誌「鐘の音」vol.22 2010年11月25日発行  
＜編集・発行＞

さいたま市男女共同参画推進センター (愛称 パートナーシップさいたま)  
編集員 / 秋山典子・五十嵐茂樹・石塚寿美恵・卜部喜子・鈴木 猛  
〒330-0854 さいたま市大宮区桜木町 1-10-18 シーノ大宮センタープラザ 3階  
電話 048-642-8107 FAX 048-643-5801  
E-mail: danjo-kyodo-sankaku@city.saitama.lg.jp  
7・11・3月発行(年3回)

この広報誌は、4,300部作成し、1部当たりの印刷経費は18円です。